

ECOで、低コストな空中撮影システム。

国土交通省 新技術情報提供システム (NETIS) 登録 QS-060016-A

航空法の規定により、セスナやヘリコプターが侵入できない高度250m以下での低空域撮影が可能。

スカイキャッチャーによる北見市の空撮写真 / 高度約 200m

無動力で騒音ゼロの空中撮影システム

スカイキャッチャーシステムは、セスナやヘリコプターなどとは違いエンジンなどの動力を必要とせず、超軽量で気密性の高い特殊樹脂フィルム製のバルーンによりヘリウムガスを注入して、風船のように上空へ舞い上がらせるだけなので、経費を抑えた『ECO』で『安全・安心』な空中撮影が可能です。バルーンに搭載した高性能デジタルカメラは地上から遠隔操作が可能であり、地上モニターにカメラ映像を通信して映し出すことでリアルタイムに撮影ポイントを確認できるので、撮影イメージのズレがありません。



撮影ユニットを浮揚させるバルーンは、超軽量で気密性の高い特殊樹脂フィルム製でロケット型となっており、後部に尾翼フィンを装着することで風を受け流し、強風に押し流されることなく撮影作業を遂行できます。無人で軽量なので墜落事故の危険性もありません。

バルーンに搭載する高性能デジタルカメラは、『RICOH 製 GR DIGITAL III』と『CASIO 製 EXILIM Z2000』の2種類を使用します。両機種とも 1000 万画素以上の写真撮影でき、動画撮影やズーム機能、広角などの用途に合わせて機種を設定します。

地上モニターで撮影ユニットからの映像を確認できます。カメラのアンゲルは、無線遠隔操作によって上下左右に操作可能であり、映像を見ながらカメラアンゲルを急に検討できるため、撮影したいイメージをそのまま実現できます。



島 / 下交差点渋滞状況写真 / 高度約 50m

航空機による「空撮」にはない自由な視点での撮影が可能。これまで、想像しても手が届かなかった「撮影ポジション」が、可能になりました。もう少し高く上がることができれば、思い通りの景色に出会えるのに。バルーン空中撮影というアイデアで実現します。鳥のような自在なアンゲルで、ゆっくり、安心して撮影ができます。

スカイキャッチャーで撮影した写真は様々な場面で活躍します。

- G.I.S (地理情報システム) データ
- 建設工事写真 (着工前後、進捗状況、完成写真)
- 各種設計協議資料
- フォトモンタージュ (最上階の景観イメージ、完成予想図)
- 災害調査 (地滑り、崖崩れ、河川氾濫、流土等の被害状況)
- 立ち入り困難な場所 (急傾斜地、崩壊危険区域) の調査
- 遺跡、文化財の調査・状況・記録。
- 植生調査 (森林、植生分布、作況等の調査)
- 空撮画像を基に画像解析、各種プレゼンテーション資料用

スカイキャッチャー

空中撮影システム

※「スカイキャッチャー」は、長菱設計株式会社の登録商標です。

システム開発元 **MEGIS** 長菱設計株式会社 スカイキャッチャー北海道代理店 **栄井建設株式会社**



国道 39 号北見駅前から東方向
高度約 50m

遠軽町のコスモス園
高度約 30m

■ 撮影のご相談、お見積り、その他、お気軽にお問い合わせください。
TEL.0157-26-3321 (担当: 本社企画営業部 / 上村幸司)